

## 「未来塾2017～行ってみよう！見てみよう！NPO訪問ツアーin中越」開催レポート

地域の多様な組織と連携し、勤労者の福祉向上を目指した広域な活動の展開ができる将来のリーダーを育成することを目的に、2013年度からはじまった「にいがた福祉リーダー塾」は、95名の卒塾生を輩出しています。昨年からは、自分の思いを持ち寄り労働者自主福祉運動の未来を語る機会が欲しい、また、未来を語る講師を迎え新たな勉強がしたい、塾生同士で未来を語りあいネットワークを拡げたいとの思いを持つ卒塾生たちの期待に応え、「未来塾」を開催しています。今年度は、彼ら卒塾生による企画として「未来塾2017行ってみよう！見てみよう！NPO訪問ツアーin中越」を2017年9月30日（土）に開催しました。



↑主催「未来塾運営委員会」根立知幸委員長より、開催挨拶と趣旨説明。「にいがた福祉リーダー塾」卒塾生のうち19名が自主的に参加。



↑オリエンテーションとして、NPO法人市民協働ネットワーク長岡高橋さんより、中越地域のNPOの現状と会場の「市民協働センター」の概要を説明。

### 【参加者アンケート】

- ・活動の裏側を感じる、次へのアクションへきっかけとなるような言葉をいただいた。
- ・活動をしている人、したい人がこんなにもいる現状を知れてよかった。
- ・様々なNPO活動の取り組みがある中で、どこも資金難や人材難など裏で苦労があると知った。



↑「まちなかキャンパス」創作交流室に移動し、時短・簡単・あたたかい！パッククッキングの体験と防災クイズをNPO法人ふるさと未来創造堂の中野さんたちにより説明。メニューはカレーと切り干し大根サラダ。器も新聞紙で作成。

### 【参加者アンケート】

- ・家にある袋で料理ができる事を学べてよかった。職場の人たちにも広めたい。
- ・協力しながら調理するのが、楽しかった。
- ・親と同居していることから備蓄には無関心だった。帰宅後確認したい。



←越後交通のバスに乗り、越後丘陵公園「里山口」から入り、NPO 法人越の里山倶楽部が取り組む「ホトケドジョウ」の生き物調査の体験。レンジャーのみなさんから、生物多様性について伺う。

【参加者アンケート】

- ・普段里山に来る機会がなかったので、楽しかった。
- ・色々な活動があり、里山の保全をしている人たちがいることが知れて、世界が広がった。
- ・生態系の破壊は人間にも大きく影響が及ぶということがわかった。

→会場の「まちなかキャンパス」に戻り、NPO 法人地域循環ネットワーク長岡金子さんより、「わりばしリサイクル」のパネルをもとに説明。炭に加工された割り箸（100円販売）をお土産に頂く。

【参加者アンケート】

- ・捨てるゴミだった割り箸も、炭になったり、コピー用紙になることを理解できた。
- ・子ども、大人、高齢者、障がい者、誰もが携われる取り組みを知ることができた。
- ・未来を創造するための人と人とのつながりの重要性を感じた。



↑最後は、「地域を食べる」をテーマに商品企画開発製造・販売などを行う㈱FARM8からオードブルとドリンク。今、話題の酒粕を使用したディップや長岡野菜のサラダなど体にやさしい料理。全体を通じて、参加者からは「また仲間（リーダー塾）をさそって参加したい」「次回は開催地域（会場）を変えながら継続してほしい」「前のめりに参加して下さった方ばかりで、大変有意義だった」という楽しく、学びの多い時間だったことから継続を望む声が多く寄せられた。